

ロシア 東欧 経済速報

(社) ロシア東欧貿易会

2005年（平成17年）12月5日号 No. 1348

目次

●ロシアで経済特区6箇所が内定	服部 倫卓	1
●キーパーソン		6
ロシア政府幹部の管轄分野を再配分／6		
●エトセトラ		6
「第6回日本トルクメニスタン経済合同会議」開催のご案内／6		
新サービス「ウクライナ・モルドバ週報」／6		
●ロシア東欧貿易会関連の行事予定		7
●CIS・中東欧諸国通貨の為替レート		7

ロシアで経済特区6箇所が内定

はじめに

ロシアでは今年7月27日に連邦法「特別経済区について」が採択され、同連邦法は8月に発効した。これを受け、経済特区の具体的な設立地の選考が進められてきた。そして、11月28日、グレフ大臣の主宰のもと、経済発展貿易省で選考委員会が開催され、経済特区6箇所が選定された。近く、これを正式に規定する政府決定が出て、いよいよ特区が動き出すことになる。

そこで今回の速報では、経済特区選定をめぐる最新の情報をとりまとめてお伝えすることにする。なお、経済特区のメカニズム等については、『ロシア東欧貿易調査月報』2005年11月号に特区法を全訳して掲載しているので、ご参照いただきたい。

今回内定した6箇所

11月28日の選考委員会で特区設立が内定したのは、以下の地図・表に示した6箇所である。7月の法律により、ロシアの経済特区には「技術導入特別経済区」と「工業生産特別経済区」の2種類があることがうたわれた。今回は、前者が4箇所、後者が2箇所決まった。